

市場ID-POSデータ*から見る 2022年の購買行動の変化

原材料・資源価格の高騰に伴い、多くの食品・日用品の物価上昇が続いています。それにより、消費者の購買行動も変化しており、どのような変化が起きているかを理解しておく必要があります。

本セミナーでは、上記のような環境変化が起きている中で、スーパーマーケット、ドラッグストアの食品・日用品カテゴリにおいて、どのような購買行動の変化が起きているのかを明らかにします。

前年比の分析に加え、食品・日用品の複数カテゴリのデータを用いた比較分析を行い、カテゴリ間比較の視点を通じて、食品・日用品の物価上昇の影響を考察します。

開催概要

- 開催日: 2023年7月7日(金)
- 時間: 14:00~15:20
- 開催形式: 「Web配信」(Zoomによるリモート)
録画のオンデマンド配信も可能
- 参加費用: 無料
- お申込み方法:
(公財)流通経済研究所「市場ID-POSデータから見る2022年の購買行動の変化セミナー」ホームページよりお申込みください。
次ページにURLの記載がございます。

*市場ID-POSデータとは、複数のスーパーマーケット、ドラッグストアのチェーンの顧客の商品購入店舗・日時・個数・価格といった購買情報に加え、ポイントカードなどを基にした誰がどのような商品を何回購入したか、などの顧客属性・購買行動も含めたデータをここでは指します。

プログラム

■2023年7月7日(金)14:00~15:20 Web開催(Zoom)

時間	内容／講師
14:00~14:05	開会／はじめに
14:05~14:40	データでわかる 消費者行動の変化 原材料価格の高騰や円安の影響による物価上昇により、消費者の行動はどのように変化したのでしょうか。 実購買データから行動の変化を読み解き、データを活用した施策作りを解説します。 (株)TrueData 執行役員 越尾由紀
14:40~15:10	市場ID-POSデータから見る食品・日用品値上げの影響 2022年は多くの食品・日用品が値上がりとなった1年でした。消費者は価格に敏感であり、値上げ前に買いためするなど、購買行動でもその影響ははっきりと出ています。 消費者の購買行動データから、どのカテゴリーが特に購買単価が上がったのかについての概観や、特徴的なカテゴリーについての深掘り分析を通じて、食品・日用品値上げの影響を解説します。 (公財)流通経済研究所 研究員 五箇勇一
15:10-15:20	『消費者購買行動年鑑2023』のご紹介 データ利活用の一歩目として、多数のカテゴリーの様々な指標が網羅的に掲載されている消費者購買行動年鑑2023の活用イメージを一部内容の抜粋も交えて、ご紹介します。 (公財)流通経済研究所 常務理事 山崎泰弘

※都合により、セミナープログラムおよびWeb配信(ライブ)の配信方法は変更が生じる場合があります。

お申し込み方法／お問い合わせ先

■(公財)流通経済研究所

「市場ID-POSデータから見る2022年の購買行動の変化セミナー」ホームページの「お申込フォーム」に必要事項をご入力の上、ご送信ください。

https://www.dei.or.jp/seminar/seminar_230707

- お問い合わせ:ご不明の点がございましたら、上記ホームページの「お問い合わせフォーム」からお問合せください。

『消費者購買行動年鑑2023』について

- 本セミナーで紹介する『消費者購買行動年鑑2023』は、2022年の消費者の購買行動を、膨大なID-POSデータをもとに総合的に把握できるデータ集です。
- 同書は、商品カテゴリごとに購買指標を掲載しており、ドラッグストア・スーパーマーケットでの購買全体がコロナ以降、物価上昇局面でどのように変化したのかを概観できるようになっています。
- 本書の詳細やご購入は、下記Webサイトよりご確認いただけます。

https://www.dei.or.jp/information/pub_yearbook2023